

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

裁判結果と行政のスタンス (続)

前回は、町田市が控訴していた裁判（交通事故の国民健康保険適用に関して、保険会社・加害者にその支払い責任を求める損害賠償等請求事件）を最高裁まで訴えなかったことで、被害者に治療を加えた医者や医療機関との信頼関係が損なわれたのではないかと書くことを書きました。第 2 定例会の一般質問で取り上げた内容です。

町田市がこの裁判で本来取り上げようとしたのは、交通事故などの治療で、患者の様態が病状固定した（治ったと言う状態でない）と言うことで、損害保険会社が支払いをしないことを正す目的でした。被害者にしてみれば、症状が完治してお医者さんの世話を受けずに済み、薬の使用を必要としない状態で怪我が治ったと考えるものでしょうが、損害保険会社にしてみれば、当初の事故で発生した怪我の症状が定まっていればそれ以降の責任は無いと言う立場にあるようです。これまでの裁判では損害保険会社に完治まで補償責任は求めてこなかったとのことでした。今回、町田市の国民健康保険を使って行われた治療のため、町田市行政が損害保険会社にその負担責任を求める裁判を最高裁まで争い、公的健康保険制度の適用の是非を問う意義がありましたが、その機会を逸したことになります。

他方で、この事故の当事者（加害者本人）からは町田市に対する最高裁への上告があり、奇妙な経緯を示しています。一般には、最高裁がそうした訴えを取り上げる可能性はほとんどないのでしょうが、今後の動向に注目しています。

ジェネリック医薬品の普及

私がジェネリック医薬品の普及に関心を持った当初は、ほとんどの人がその存在を知らない時代でした。今は、一般の保険診療にも広がる時代になってきました。医薬メーカーが新薬を開発し、その特許期限が切れた段階で、後発医薬品（ジェネリック医薬品）メーカーがその新薬と同じ成分を持った医薬品を製造して、安価に販売する方法があり、それが徐々に普及してきたものです。

私は、まずジェネリック医薬品メーカーの方に講演をしてもらい、それを広報することから始めました。次いで、議会では町田市民病院でジェネリック使用の拡大を求める提案してきました。その後は、町田市が運営する国民健康保険会計にジェネリックを取り入れる方法を提案しました。今では、市からの通知に「ジェネリック医薬品を使用すること」の意義が記されることが増えました。

実際に調剤薬局で薬を受け取る際に、「ジェネリック医薬品の使用を求めるかどうか」の意思を尋ねられる時代になり、患者が薬の選択を自由にできるようになりました。

風邪を引き、ジェネリック医薬品使用



★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート①-2 岡澤優紀

今回は 2015 年 5 月に新しくオープンをした、『忠生市民センター』と『こどもセンターただ ON』へ見学をしにいきました。忠生市民センターには、一階に行政窓口があり、戸籍届や住民票の請求など行うことができます。また、市民の方へ貸出ができる部屋があり、それぞれ会議室と多目的室という名前がわかれていて用途によって使い分けができるようになっています。



明治大学3年生 岡澤優紀 第 36 研修生

今年の 4 月から町田市の図書館はシステムを変更しました。貸出が窓口でなくセルフでできるようになりました。これはプライバシー保護の役割があります。この貸出機も、一冊ずつ置くのではなくてまとめて重ねておくと機械が何冊あるか、何の本なのかを自動的に読み取ってくれます。こういった貸出機を見たのは初めてでした。予約をした本も図書館とは別の部屋に置いてありセルフで貸出をすることができます。通常、こうした予約した本は窓口にはかないと借りられません。ですが、この方法ならば他人に見られたくない場合などにとても良い方法だと思いました。

北欧メーカー製品の優美さ

田園都市線二子玉川駅のショッピングセンターに入る北欧メーカーのコーナーに注目しました。日本メーカーでは、こうした製品が好調とは言えませんが、ここでは別の発展を見せる企業の姿を発見しました。

バング&オルフセンと言う会社は、デンマークでラジオを製造していた創業 90 年の音響メーカーだとのことでした。と言っても、私自身は聞いたことが無く、日本ではなじみがないメーカーでした。欧米では、高級車のオーディオの車内に積載されるカーオーディオが知られているとの事でした。室内には、モニター、スピーカー、ヘッドホンなどが配置され、そのゆったりした並べ方がデンマークを連想させるものでした。それ以外に日常空間を音響ルームにしてくれる素敵な器機が設置されていました。バング&オルフセンが作った音響システムで、どの方向に居ても最良の音響環境が維持させる器機が配置されているとのことでした。そこにいるだけで楽しくなる空間です。本来、二子玉川ライズショッピングセンターの施設を見学に来たのですが、このショールームで音楽を堪能することと、その優美な安らぎ感に浸らせるものでした。



★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp